

平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月10日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 シーマ

コード番号 7638 URL <http://www.cima-ir.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 白石 幸栄

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理統括 (氏名) 松橋 英一

TEL 03-3567-8098

四半期報告書提出予定日 平成24年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	2,147	△1.4	△226	—	△229	—	△191	—
24年3月期第1四半期	2,177	△16.0	△166	—	△169	—	△112	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 △192百万円 (—%) 24年3月期第1四半期 △112百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	△1.04	—
24年3月期第1四半期	△0.61	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	8,640	5,040	58.3
24年3月期	8,723	5,233	60.0

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 5,040百万円 24年3月期 5,233百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	0.00	—	1.00	1.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,356	14.0	87	—	75	—	15	—	0.09
通期	10,921	9.0	365	—	343	—	223	—	1.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	183,765,644 株	24年3月期	183,765,644 株
25年3月期1Q	806 株	24年3月期	792 株
25年3月期1Q	183,764,850 株	24年3月期1Q	183,764,880 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法にもとづく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述などについてのご注意)

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項などについては、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間（平成24年4月1日～平成24年6月30日）におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要などにより穏やかな景気の持ち直しが見られたものの、欧州債務危機や電力供給問題等を背景とする懸念材料があり、先行きは不透明な状況となっております。

このような経済状況のもと、当社および当社の関係会社（以下、当社グループという）の主力であるブライダル事業は、個人消費の低迷、同業企業間での競争の激化など厳しい環境下での営業となりました。当第1四半期連結累計期間においては、「愛を、永遠にする。」という新しい理念のもと、あらゆる最高をお客様に提供すべく、それらを追及していくことを全社職員が取り組むと共に、具体的には次の売上増加施策および利益向上施策を実施し、業績の回復に努めました。

1) 集客力の強化

広告制作部門の強化によりブランド価値を向上させ、当社ブランドの認知度向上に努めました。

2) 商品力の強化

新規顧客層を獲得するため、新企画の商品開発に取り組みました。

3) 人事制度の強化

新しい企業理念にもとづく、接客スタッフの評価制度改革による意欲の向上、教育制度の改革や充実による接客スキルの向上に取り組みました。

4) 組織力の強化

店舗指導、営業教育のための新部署の設立および人事部門の再編成による販売、営業部門に対するバックアップ体制を強化しました。

5) 経費面の全面見直し

引き続き全部署を対象とし、全社網羅的な経費削減策を実施しました。

6) 店舗の統廃合による効率化

店舗運営の効率化を図り、利益を改善する施策として、前連結会計年度末に実施したホワイトベル3店舗の統合に加え、当第1四半期連結累計期間にはエクセルコダイヤモンド広島店を閉店しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、売上高21億47百万円（前年同四半期比1.4%減）、営業損失2億26百万円（前年同四半期は、営業損失1億66百万円）、経常損失2億29百万円（前年同四半期は、経常損失1億69百万円）、四半期純損失1億91百万円（前年同四半期は、四半期純損失1億12百万円）となりました。

当社グループの販売・サービス別の売上は、以下のとおりです。

セグメントの名称	販売・サービスの名称など	当第1四半期連結累計期間（千円） （自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日）	前年同四半期比 （%）	構成比（%）
ブライダル事業	ブライダル関連販売・サービス	2,054,136	98.8	95.6
	ファッション関連販売・サービス	93,122	95.9	4.3
	その他（注）2	563	125.9	0.0
合計		2,147,822	98.6	100.0

（注）1. 上記の金額には、消費税等は含まれていません。

2. 「その他」は、催事・本社関連などの売上となっております。

3. 「ブライダル関連販売・サービス」は、ブライダルジュエリー販売、ギフト販売、ウェディング送客サービス、ティアラ・レンタルサービスおよび連結子会社の売上となっております。「ファッション関連販売・サービス」は、ファッションジュエリー販売の売上となっております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産の部)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ1百万円増加（前連結会計年度比0.0%増）し、55億64百万円となりました。主な増減要因としては、現金及び預金の増加1億10百万円、商品及び製品の減少1億5百万円などによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ84百万円減少（同2.7%減）し、30億76百万円となりました。主な減少要因としては、店舗統合による敷金及び保証金の減少1億5百万円などによるものです。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて1.0%減少し、86億40百万円となりました。

(負債の部)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ1億76百万円増加（前連結会計年度比6.5%増）し、28億66百万円となりました。主な増減要因としては、短期借入金の増加2億00百万円、支払手形及び買掛金の減少46百万円などによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて66百万円減少（同8.4%減）し、7億32百万円となりました。主な減少要因としては、社債の減少35百万円、長期借入金の減少29百万円などによるものです。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて3.1%増加し、35億99百万円となりました。

(純資産の部)

純資産は、前連結会計年度末に比べて1億92百万円減少（前連結会計年度比3.7%減）し、50億40百万円となりました。主な減少要因としては、四半期純損失による利益剰余金の減少1億91百万円などによるものです。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は58.3%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の連結業績予想については、平成24年5月10日の決算短信で公表した第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想に変更はありません。

※本資料の上記の予想は、提出日現在において、入手可能な情報にもとづき作成したものであり、実際の業績は業況の変化や予期せぬ事象の発生などによって、大きく異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しています。

これによる、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微です。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,051,756	1,162,051
受取手形及び売掛金	383,775	336,039
商品及び製品	3,900,782	3,795,705
原材料及び貯蔵品	66,185	64,063
前払費用	106,082	97,707
繰延税金資産	34,213	54,365
その他	19,549	54,310
貸倒引当金	△120	△109
流動資産合計	5,562,226	5,564,134
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備（純額）	679,445	664,652
車両運搬具（純額）	8	6
工具、器具及び備品（純額）	980,274	992,098
有形固定資産合計	1,659,728	1,656,756
無形固定資産		
ソフトウェア	47,454	45,547
電話加入権	4,932	4,932
無形固定資産合計	52,387	50,480
投資その他の資産		
長期前払費用	19,523	18,315
長期貸付金	15,398	14,193
敷金及び保証金	1,114,336	1,008,711
繰延税金資産	299,120	327,052
その他	14,176	14,226
貸倒引当金	△13,562	△13,561
投資その他の資産合計	1,448,992	1,368,937
固定資産合計	3,161,107	3,076,174
資産合計	8,723,334	8,640,309

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	251,571	205,023
短期借入金	1,400,000	1,600,028
1年内償還予定の社債	170,000	170,000
1年内返済予定の長期借入金	146,086	116,976
未払金及び未払費用	514,904	571,879
未払法人税等	27,796	13,295
前受金	164,725	145,139
その他	15,241	44,141
流動負債合計	2,690,325	2,866,483
固定負債		
社債	345,000	310,000
長期借入金	161,836	132,592
退職給付引当金	272,525	272,626
長期未払金	20,296	17,638
固定負債合計	799,658	732,856
負債合計	3,489,984	3,599,339
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,777,743	1,777,743
資本剰余金	1,536,643	1,536,643
利益剰余金	1,915,018	1,723,530
自己株式	△73	△73
株主資本合計	5,229,331	5,037,842
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	4,018	3,126
その他の包括利益累計額合計	4,018	3,126
純資産合計	5,233,349	5,040,969
負債純資産合計	8,723,334	8,640,309

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	2,177,500	2,147,822
売上原価	693,377	696,565
売上総利益	1,484,123	1,451,257
販売費及び一般管理費	1,651,060	1,677,631
営業損失(△)	△166,937	△226,374
営業外収益		
受取利息	71	61
為替差益	4,083	2,455
貸倒引当金戻入額	1,212	—
雑収入	860	1,207
営業外収益合計	6,228	3,723
営業外費用		
支払利息	4,608	4,911
社債利息	1,583	1,678
社債発行費	2,217	—
営業外費用合計	8,409	6,590
経常損失(△)	△169,118	△229,240
特別損失		
固定資産除却損	7,049	2,419
特別損失合計	7,049	2,419
税金等調整前四半期純損失(△)	△176,168	△231,659
法人税、住民税及び事業税	3,585	7,912
法人税等調整額	△67,711	△48,084
法人税等合計	△64,125	△40,171
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△112,042	△191,488
四半期純損失(△)	△112,042	△191,488

（四半期連結包括利益計算書）
（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自平成24年4月1日 至平成24年6月30日）
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△112,042	△191,488
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△237	△891
その他の包括利益合計	△237	△891
四半期包括利益	△112,280	△192,379
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△112,280	△192,379

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。